

(様式第1号)

令和 元年 6月 30日

認定介護福祉士認証・認定機構
理事長 大島 伸一 様

領 域 名 : 医療に関する領域

科 目 名 : 疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I

単 位 数 : 2単位

認証申請する研修の名称 : 疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I (認定介護福祉士養成研修)

団体名 : 一般社団法人愛知県介護福祉士会

団体事務所の所在地 : 〒 460-0001

愛知県名古屋市中区三の丸1丁目7-2 桜華会館内

電話 : 052-202-8260

FAX : 052-202-8280

E-mail : info@aichi-kaigo.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者 : 会長 下山久之 印

申請責任者 : 下山久之

記

○認定介護福祉士研修認証申請書 (別紙1～3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙 1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号 _____

(※は記入しないでください)

認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	2018年10月31日
申請団体名	一般社団法人愛知県介護福祉士会
申請団体代表者氏名	会長 下山久之
申請責任者職名	会長 下山久之
申請責任者氏名	下山久之
団体住所	〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸1丁目7-2 桜華会館内
同 Tel・Fax	Tel : (052)-(202)-(8260)
メールアドレス	Fax : (052)-(202)-(8280) E-mail <u>info@aichi-kaigo.jp</u>
申請対象の領域	領域名 : 医療に関する領域
科目名 (単位数)	科目名 : 疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I (2単位)
申請する研修名	疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I (認定介護福祉士養成研修)
研修認証実績	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	医療に関する領域	
科目名	疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I	
(1) 提供する研修について		
研修名	疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I (認定介護福祉士養成研修)	
研修目標	○認定介護福祉士として、生活支援の場面で必要となる医療的ケアや判断および医療職等との連携の際の根拠となる医療に関する基礎的な知識を獲得する。	
到達目標	○生活支援場面で必要となる、解剖生理、病態生理、症候、疾病等の基礎的な内容を理解し、他者に説明できる。 ○疾患・障害等について、その機序、主な症状、診断・治療、経過と予後等の生活支援に必要な基礎的な内容を理解し、他者に説明できる。	
研修内容 (研修プログラム)	含むべき内容	研修プログラム
	<p>課題学習 (23 時間)</p> <p>1. 生活支援場面で必要となる解剖生理、病態生理、症候、疾病等に関する基礎知識 (5 時間)</p> <p>2. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識 (18 時間)</p>	<p>課題学習 (23 時間)</p> <p>1 生活支援場面で必要となる解剖生理、病態生理、症候、疾病等に関する基礎知識 (5 時間)</p> <p>テキスト『メディカルスタッフのための内科学』第 2 章を読み、レポート課題に取り組む。</p> <p>○移動、移乗、歩行、食事、整容、更衣、トイレ動作、入浴に関連した身体機能の基礎知識 (解剖・生理) とバイタルサイン (Vital Signs) 及び疾患の代表的な症状を学習する。</p> <p>・発熱、脱水、悪心、嘔吐、下痢、便秘、失禁、頻尿、浮腫、腹痛、食欲不振、咳、痰、喘鳴、呼吸困難、誤嚥、動悸、不整脈、胸痛、難聴、視力障害、眩暈、麻痺、振戦、腰痛、背部痛、膝痛、不眠、褥瘡、バイタルサイン、ホメオスタシス</p> <p>2 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識 (18 時間)</p> <p>テキスト『メディカルスタッフのための内科学』第 2 章、『骨・関節系の症状・疾患の理解と看護』、『発達障害の臨床心理』を読み、レポート課題に取り組む。</p>

○感染症（1.5時間）

・感染症が局所的、全身的疾患であることを理解する。感染症の分類、概念、病態、診断を理解する。感染症の治療、予防について理解する。

※以下の、各疾患・障害等について、次の内容を踏まえる。

- ①機序、症状、診断・治療、経過と予後
- ②主な薬の知識（作用と副作用）
- ③リスクと対応
- ④生活支援の留意点・観察ポイント
- ⑤他職種と共有すべき情報、等

○神経・筋疾患（1.5時間）

・中枢神経疾患の原因病態を理解する。抹消神経疾患の原因、病態を理解する。筋疾患：筋萎縮には神経原性と筋原性があることを理解する。

・神経筋疾患（パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症（ALS）等）

・脳血管疾患（脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血、一過性脳虚血発作（TIA）等）

- ①機序、症状、診断・治療、経過と予後
- ②主な薬の知識（作用と副作用）
- ③リスクと対応
- ④生活支援の留意点・観察ポイント
- ⑤他職種と共有すべき情報、等

○高次脳機能障害（1.5時間）

・脳血管障害、頭部外傷などの器質的損傷により失語・失行・失認といった局在的巣症状、注意障害や記憶障害などの欠落症状、判断・遂行機能障害・社会的行動障害などを呈する状態像を理解する。

・失語、失行、失認、記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害

- ①機序、症状、診断・治療、経過と予後
- ②主な薬の知識（作用と副作用）
- ③リスクと対応
- ④生活支援の留意点・観察ポイント
- ⑤他職種と共有すべき情報、等

○循環器疾患（1.5時間）

・心電図を通して不整脈を理解する。心不全の病態、治療について理解する。虚血性心疾患、狭心症、心筋梗塞の症状、診断・治療について理解する。

・慢性虚血性心疾患、狭心症、急性心筋梗塞、高血圧性疾患

①機序、症状、診断・治療、経過と予後

②主な薬の知識（作用と副作用）

③リスクと対応

④生活支援の留意点・観察ポイント

⑤他職種と共有すべき情報、等

○呼吸器疾患（1.5時間）

・気管支、肺の感染症について理解する。呼吸不全を生じる慢性の肺疾患について理解する。肺循環障害による疾患について理解する。肺の腫瘍性疾患について理解する。

・慢性閉塞性肺疾患、誤嚥性肺炎、不顕性肺炎

①機序、症状、診断・治療、経過と予後

②主な薬の知識（作用と副作用）

③リスクと対応

④生活支援の留意点・観察ポイント

⑤他職種と共有すべき情報、等

○消化器疾患（1.5時間）

・消化器の炎症性疾患、感染症について理解する。消化器の腫瘍性疾患について理解する。肝臓・胆嚢・膵臓疾患について理解する。

①機序、症状、診断・治療、経過と予後

②主な薬の知識（作用と副作用）

③リスクと対応

④生活支援の留意点・観察ポイント

⑤他職種と共有すべき情報、等

○代謝系疾患（1.5時間）

・代謝疾患の成因と病態を理解する。肥満と生活習慣病の関連性を理解する。メタボリックシンドロームの概念を理解する。代謝異常の進展と動脈硬化症性疾

	<p>患の発生器所を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脂質異常症、糖尿病 <ol style="list-style-type: none"> ①機序、症状、診断・治療、経過と予後 ②主な薬の知識（作用と副作用） ③リスクと対応 ④生活支援の留意点・観察ポイント ⑤他職種と共有すべき情報、等 <p>○泌尿器疾患（1.5時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腎臓の機能を学習し、腎不全時に見られる症状・重症度を理解する。腎透析を理解する。糖尿病腎症の病態を理解する。膀胱機能を理解し、頻尿、失禁の病態を理解する。 ・頻尿、失禁、腎炎、人工透析 <ol style="list-style-type: none"> ①機序、症状、診断・治療、経過と予後 ②主な薬の知識（作用と副作用） ③リスクと対応 ④生活支援の留意点・観察ポイント ⑤他職種と共有すべき情報、等 <p>○筋・骨格系疾患（1.5時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨の構造と仕組みを理解し骨折の症状、分類、治癒、骨折による合併症状を理解する。骨粗鬆症、関節リウマチ、変形性関節症、脊柱管狭窄症について理解する。 ・高齢者に多い骨折等（大腿骨頸部骨折、橈骨遠位端骨折、腰椎圧迫骨折等）を理解する。 <ol style="list-style-type: none"> ①機序、症状、診断・治療、経過と予後 ②主な薬の知識（作用と副作用） ③リスクと対応 ④生活支援の留意点・観察ポイント ⑤他職種と共有すべき情報、等 <p>○精神的疾患（1.5時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合失調症、うつ病、せん妄、アルコール依存症候群、睡眠障害等について理解する。 <ol style="list-style-type: none"> ①機序、症状、診断・治療、経過と予後 ②主な薬の知識（作用と副作用） ③リスクと対応 ④生活支援の留意点・観察ポイント
--	---

	<p>⑤他職種と共有すべき情報、等</p> <p>○発達障害・知的障害（1.5時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自閉症、アスペルガー症候群・広汎性発達障害・学習障害、注意欠陥多動性障害等の病態を理解し、ライフステージに応じた支援の違いを理解する。 ・知的障害の評価を理解し、ライフステージに応じた支援の違いを理解する。 <p>①機序、症状、診断・治療、経過と予後</p> <p>②主な薬の知識（作用と副作用）</p> <p>③リスクと対応</p> <p>④生活支援の留意点・観察ポイント</p> <p>⑤他職種と共有すべき情報、等</p> <p>○その他の疾患（1.5時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人性白内障、緑内障、老人性難聴、感染症、消化器疾患等 ・感覚器系の解剖及び疾患を理解する。 <p>①機序、症状、診断・治療、経過と予後</p> <p>②主な薬の知識（作用と副作用）</p> <p>③リスクと対応</p> <p>④生活支援の留意点・観察ポイント</p> <p>⑤他職種と共有すべき情報、等</p> <p>集合学習（7時間）</p> <p>8：45～9：00 オリエンテーション</p> <p>9：00～10：30 担当：武田</p> <p>1. 生活支援場面で必要となる解剖生理、病態生理、症候、疾病等に関する基礎知識（2時間）</p> <p>1 生活支援場面で必要となる解剖生理、病態生理、症候、疾病等に関する基礎知識（2時間。ただし1時間を45分として換算する）</p> <p>テキスト『メディカルスタッフのための内科学』第2章の内容を講義形式での解説後、自職場の利用者に即し、以下の内容を理解する。課題を基にグループワークを行う。</p> <p>○移動、移乗、歩行、食事、整容、更衣、トイレ動作、入浴に関連した身体機能の基礎知識（解剖・生理）とバイタルサイン（Vital Signs）及び疾患の代表的な症状を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発熱、脱水、悪心、嘔吐、下痢、便秘、失禁、頻尿、浮腫、腹痛、食欲不振、咳、
--	--

	<p>痰、喘鳴、呼吸困難、誤嚥、動悸、不整脈、胸痛、難聴、視力障害、眩暈、麻痺、振戦、腰痛、背部痛、膝痛、不眠、褥瘡、バイタルサイン、ホメオスタシス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●導入講義 20分 ●演習 30分 ●発表 20分 ●フィードバック講義 20分 <p>10：30～10：45 休憩</p> <p>2. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識 (5時間)</p> <p>2 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識 (5時間。ただし1時間を45分として換算する)</p> <p>テキスト『メディカルスタッフのための内科学』第2章、『骨・関節系の症状・疾患の理解と看護』、『発達障害の臨床心理』の内容を講義形式での解説後、自職場の利用者に即し、以下の内容を理解する。課題を基にグループワークを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○感染症 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症が局所的、全身的疾患であることを理解する。感染症の分類、概念、病態、診断を理解する。感染症の治療、予防について理解する。 ○神経・筋疾患 <ul style="list-style-type: none"> ・中枢神経疾患の原因病態を理解する。抹消神経疾患の原因、病態を理解する。筋疾患：筋萎縮には神経原性と筋原性があることを理解する。 ○高次脳機能障害 <ul style="list-style-type: none"> ・脳血管障害、頭部外傷などの器質的損傷により失語・失行・失認といった局在的巣症状、注意障害や記憶障害などの欠落症状、判断・遂行機能障害・社会的行動障害などを呈する状態像を理解する。 ○循環器疾患 <ul style="list-style-type: none"> ・心電図を通して不整脈を理解する。心不全の病態、治療について理解する。虚血性心疾患、狭心症、心筋梗塞の症状、診断・治療について理解する。 ○消化器疾患 <ul style="list-style-type: none"> ・消化器の炎症性疾患、感染症について
--	--

理解する。消化器の腫瘍性疾患について理解する。肝臓・胆嚢・膵臓疾患について理解する。

○代謝系疾患

・代謝疾患の成因と病態を理解する。肥満と生活習慣病の関連性を理解する。メタボリックシンドロームの概念を理解する。代謝異常の進展と動脈硬化症性疾患の発生器所を理解する。

○泌尿器疾患

・腎臓の機能を学習し、腎不全時に見られる症状・重症度を理解する。腎透析を理解する。糖尿病腎症の病態を理解する。膀胱機能を理解し、頻尿、失禁の病態を理解する。

○筋・骨格系疾患

・骨の構造と仕組みを理解し骨折の症状、分類、治癒、骨折による合併症状を理解する。骨粗鬆症、関節リウマチ、変形性関節症、脊柱管狭窄症について理解する。

・高齢者に多い骨折等（大腿骨頸部骨折、橈骨遠位端骨折、腰椎圧迫骨折等）を理解する。

○精神的疾患

・統合失調症、うつ病、せん妄、アルコール依存症候群、睡眠障害等について理解する。

○発達障害・知的障害

・自閉症、アスペルガー症候群・広汎性発達障害・学習障害、注意欠陥多動性障害等の病態を理解し、ライフステージに応じた支援の違いを理解する。

・知的障害の評価を理解し、ライフステージに応じた支援の違いを理解する。

○その他の疾患

・老人性白内障、緑内障、老人性難聴、感染症、消化器疾患等

・感覚器系の解剖及び疾患を理解する。
※以下の、各疾患・障害等について、次の内容を踏まえる。

①機序・症状、診断・治療、経過と予後

②主な薬の知識（作用と副作用）

	<p>③リスクと対応 ④生活支援の留意点・観察ポイント ⑤他職種と共有すべき情報、等</p> <p>10：45～12：15 担当：武田 ○感染症○神経・筋疾患○高次脳機能障害 ●導入講義 20分 ●演習 30分 ●発表 20分 ●フィードバック講義 20分</p> <p>12：15～13：15 昼食休憩</p> <p>13：15～14：45 担当：武田 ○循環器疾患○消化器疾患○代謝系疾患○泌尿器疾患○筋・骨格系疾患 ●導入講義 20分 ●演習 30分 ●発表 20分 ●フィードバック講義 20分</p> <p>14：45～15：00 休憩</p> <p>15：00～15：45 担当：武田 ○精神的疾患○発達障害・知的障害○その他の疾患 ●導入講義 10分 ●演習 15分 ●発表 10分 ●フィードバック講義 10分</p> <p>15：45～16：00 ●一日の振り返り（15分）</p> <p>16：00～17：00 ●筆記試験（60分間）</p> <p>17：00～17：15 ●結果発表の方法、今後の研修の流れ等</p>
2. 研修振り返り	
3. 筆記試験（60分）	
4. 事務連絡	

研修方法	<p>■集合学習（集合研修） 7 時間</p> <p>■課題学習（通信研修） 2 3 時間</p> <p>先に課題学習（通信研修）23 時間を行い、その課題（レポート等）を事前に事務局へ提出し、集合学習（集合研修）7 時間では、課題学習で取り組んだレポート等を基にしたグループワーク等の演習を交えて進めていく。</p>
研修時間	30 時間
修了要件	<p>課題学習における課題を提出し、集合学習のすべての時間に出席し、終了検定課題（筆記試験）で合格基準を満たしていることを確認する。ただし、やむを得ない理由で遅刻・早退がある場合、補講又はレポート提出をもってその不足分を補う。やむを得ない場合の遅刻・早退は 30 分以内とし、30 分を超える遅刻・早退は認めない。</p> <p>① 生活支援場面で必要となる、解剖生理、病態生理、症候、疾病等の基礎的な内容を理解し、他者に説明できる。</p> <p>② 疾病・障害等について、その機序、主な症状、診断・治療、経過と予後等の生活支援に必要な基礎的な内容を理解し、他者に説明できる。</p>
講師要件（講師の選定基準）	<p>○当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること</p> <p>○修士課程を修了していることが望ましい</p> <p>○在宅支援の経験がある医師または看護師が望ましい</p> <p>医師：大学講師以上または学会認定専門医以上が望ましい。</p> <p>看護師：大学講師以上または「認定看護師」以上の資格を所持していることが望ましい。</p>
(2)受講者について	
受講対象（受講要件）	特になし
修了評価（習得度、研修成果）	筆記試験に合格する（試験時間は 60 分。筆記試験。50 問程度、100 点満点中 60 点以上で合格）。
(3)研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	<p>30 名</p> <p>30 名に対し講師 1 名、ファシリテーター 1 名を配置する。</p>
開催場所（都道府県）	愛知県名古屋市中区三の丸 1 丁目 7-2 桜華会館

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 2019年12月
	②
	③
開催場所 (会場)	① 桜華会館 (愛知県名古屋市中区三の丸1丁目7-2)
	②
	③
(2) 講師 武田啓子 (日本福祉大学健康科学部教授)	
担当、氏名及び略歴	聖隷クリストファー大学大学院看護学研究科博士後期課程修了 博士 (看護学)
	日本福祉大学健康科学学部リハビリテーション学科教授
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	愛知県介護福祉士会事務局 事務局長1名 事務員1名 会長・副会長1名 認定介護福祉士担当理事2名 協力員 (愛知県介護福祉士会会員) 3名
研修の企画運営に関する 諸規程	愛知県介護福祉士会研修運営に関する規程
研修管理責任者職名	愛知県介護福祉士会会長
研修管理責任者氏名	下山久之
機構問合先部署	一般社団法人愛知県介護福祉士会事務局
機構問合先担当者氏名	会長 下山久之 事務局長 池田久恵
機構問合先電話番号/FAX	電話 052-202-8260 FAX052-202-8280
機構問合先 e-mail アドレス	info@aichi-kaigo.jp
受講問合先部署	一般社団法人愛知県介護福祉士会事務局
受講問合先担当者氏名	会長 下山久之 事務局長 池田久恵
受講問合先電話番号/FAX	電話 052-202-8260 FAX052-202-8280
受講問合先 e-mail アドレス	info@aichi-kaigo.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	愛知県介護福祉士会 研修事業部
受講履歴の管理方法	愛知県介護福祉士会 研修事業部・事務局により受講路歴をパソコンにて管理する。
受講履歴の証明	科目修了ごとに修了証を発行する。
管理責任者氏名	会長 下山久之 事務局長 池田久恵
管理担当者氏名	事務局長 池田久恵

認定介護福祉士研修 「疾患・障害のある人への生活支援・連携Ⅰ」

時間	テーマ	講義・演習等	備考、留意点
8:45~9:00	オリエンテーション		
9:00~10:30	1. 生活支援場面で必要となる解剖生理、病態生理、症候、疾病等に関する基礎知識 (担当:武田)	講義形式と演習 ●導入講義 20分 ●演習 30分 (レポート課題で取り上げた自職場の利用者に即し、生活支援場面で必要とされる解剖生理、病態生理、症候、疾病等の理解を深める。グループワークで相互のレポート課題を紹介し、共通点を見出ししていく。) ●発表 20分 ●フィードバック講義 20分	テキスト『メディカルスタッフのための内科学』
10:30~10:45	休憩		
10:45~12:15	2. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識 (担当:武田)	講義形式と演習 ○感染症○神経・筋疾患○高次脳機能障害 ●導入講義 20分 ●演習 30分 (レポート課題で取り上げた自職場の利用者に即し、疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識を深める。グループワークで相互のレポート課題を紹介し、共通点を見出ししていく。) ●発表 20分 ●フィードバック講義 20分	テキスト『メディカルスタッフのための内科学』 『骨・関節系の症状・疾患の理解と看護』『発達障害の臨床心理』 ※事前課題を活用し、グループワークを実施する。
12:15~13:15	昼食休憩		
13:15~14:45	2. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識 (担当:武田)	講義形式と演習 ○循環器疾患○消化器疾患○代謝系疾患○泌尿器疾患○筋・骨格系疾患 ●導入講義 20分 ●演習 30分	※事前課題を活用し、グループワークを実施する。

14:45~15:00	休憩	<p>(レポート課題で取り上げた自職場の利用者に即し、疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識を深める。グループワークで相互のレポート課題を紹介し、共通点を見出していく。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●発表 20分 ●フィードバック講義 20分 	
15:00~15:45	<p>2. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識 (担当：武田)</p>	<p>講義形式と演習</p> <p>○精神的疾患○発達障害・知的障害○その他の疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ●導入講義 10分 ●演習 15分 <p>(レポート課題で取り上げた自職場の利用者に即し、疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識を深める。グループワークで相互のレポート課題を紹介し、共通点を見出ししていく。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●発表 10分 ●フィードバック講義 10分 	<p>※事前課題を活用し、グループワークを実施する。</p>
15:45~16:00	<p>3. 研修振り返り (担当：武田)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●一日の振り返り 	
16:00~17:00	<p>4. 筆記試験 (担当：事務員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●筆記試験 60分 	
17:00~17:15	<p>5. 事務連絡 (担当：事務員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●結果発表の方法、今後の研修の流れ等 	